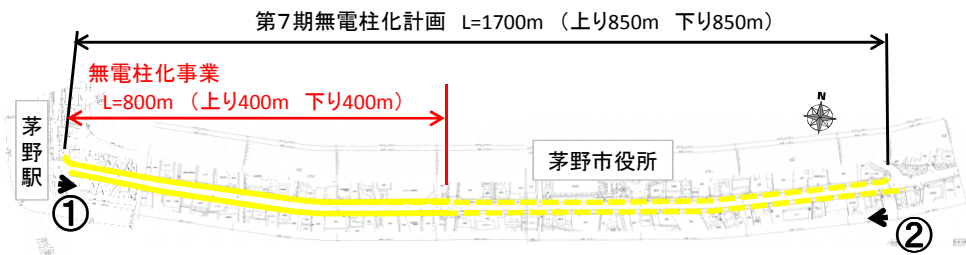


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		無電柱化推進事業		路河川名等	(一)茅野(停)八ヶヶ峰公園線			
事業毎の通番		5	市町村名	茅野市	箇所名(ふりがな)	仲町(なかもち)～本町(ほんまち)		
事業概要	事業目的	当箇所は、JR茅野駅と八島高原を結ぶ観光道路であり、年間を通じて大勢の観光客が訪れる蓼科・白樺湖など観光リゾート地への玄関口です。駅から商業地へ行き交う歩行者、自転車数は、平日で520人・台/12hを数え、電線類の地中化を実施することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び防災面の向上を図ると共に、地域の活性化が期待されます。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	農山村産業クラスター形成PJ		事業実施の根拠法令等	道路法 電線共同溝の整備等に関する特別措置法			
	関連する事業、計画等	茅野都市計画区域マスタープラン(H25)により本エリアは「商業系地域」と位置付けられている。茅野市民プラン後期計画(H25)の中で賑わい市街地ゾーン位置づけられ、面的な整備が図られている。						
	保安対象・範囲 受益対象・範囲	茅野駅～商業地へ向かう歩行者、災害時の通行車両他						
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費 (千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.8		国庫	その他	県債
	全体事業内容 (主な工種)	電線共同溝設置 L=800m (道路延長 L=400m)			400,000	220,000		180,000
	年度事業内容 (主な工種)	電線共同溝詳細設計 1式			10,000	5,500		4,500
	事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	歩道空間を占有している電柱の地中化により、快適・安全な歩行空間が得られる。 無電柱化により、災害時等の電柱転倒、電線垂れ下がりによる交通障害の発生がなくなる。					
		間接的効果 (定量的・定性的)	道路空間の圧迫感解消により、沿道の良好な景観が得られる。 良好な景観、快適な歩行空間の形成により、市街地の活性化が見込める。					
評価の視点	必要性	駅から商業地へ行き交う歩行者は386(人/12h)、自転車数は140(台/12h)(H22道路交通センサス)であり、電線類の地中化を実施することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び防災面の向上を図るため、無電柱化が必要である。					評価	A
	重要性	当該地は、茅野都市計画マスタープラン(H25)において、商業地区に位置づけられている。また、茅野市民プラン後期計画(H25)により賑わい市街地ゾーン交流拠点に位置付けられており、安全な歩行空間の確保や良好な景観形成が重要な課題である。					評価	B
	効率性	5年以内の早期事業完成により効率的に事業を行う。					評価	C
	緊急性	茅野駅から茅野市役所へと続く市内の主要道路であるとともに、茅野駅より蓼科や白樺湖といった有名な観光地への玄関口としての観光道路といった性質もあり、早期の事業着手が望まれている。					評価	A
	計画熟度	市町村から事業計画に対して要望があり、関係者を中心に事業説明を行い、周知することにより合意形成を図っている。					評価	C
	部意見	茅野市の都市計画等でも中心市街地として位置付けられていることから、良好な景観の形成、歩道空間の確保、緊急時のために事業の実施が必要である。	行政改革課意見	無電柱化により安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び防災信頼性の向上を図ることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	全国的に欧米諸国に比して電線地中化の遅れにより、安全で快適な通行空間の確保上、都市景観上、都市防災上及び安定供給上の支障が生じている。 当該箇所においても、茅野駅、茅野市役所に近接するなか、一部区間に電柱、電線が設置されており、安全で快適な通行空間確保、都市景観向上、都市防災のため、無電柱化事業が要望されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	茅野市より要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	H27.12.2 茅野市都市計画課、建設課と本事業について調整 H28.2.18 地元(仲町区、塚原区、本町区)に事業化に向けた測量着手について周知
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	茅野都市計画マスタープラン(H25)において、商業地区に位置づけられている。また、茅野市民プラン後期計画(H25)により賑わい市街地ゾーン交流拠点に位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	生活環境への影響に配慮し、低騒音機械の使用等を検討する。
⑥地域活性化への影響と配慮	無電柱化による沿道空間の圧迫感解消により、良好な景観を形成し、商業活動等の地域活性化に寄与する。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 59' 41" 東経:E 138° 9' 22"